

大分教育事務所訪問②-9 (計82)

由布市立塚原小学校に学ぶ

学校経営から学ぶ

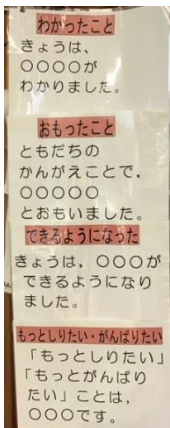
学校の教育目標「心豊かに自ら学ぶ 塚原っ子の育成 ～地域とともに歩む学校～」を達成するために、学校として育成を目指す資質・能力を「表現力」「主体性」と定め、リモートを活用した川西小との交流や、地区合同運動会等地域の方との協働による行事等、小規模校の良さや強みを生かした経営を行っています。

さらに、学校独自の取組である、「表現タイム」や学年の系統に応じた「思考ツール」の活用も素晴らしいですが、最も注目したのは、家庭の目標に「宿題の見取り等を通して親子のコミュニケーションを図る」ことです。保護者の目的は、宿題を教えるのではなく対話することなので取り組みやすく、本校の重点目標である「自信をもって考えを表現する」にも当てはまりますね。このことは、多くの学校の参考になると思いました。

2学期は多くの行事を計画しているようなので、それぞれの行事の上位目標(目的)を「表現力」や「主体性」等とすることで、共通理解が深まり、取り組み(手段)については担当者に任せることができ、より当事者意識が高まると思いました。

授業から学ぶ

1・2年図工では、作業をしながらも子ども達のつぶやきがあふれ、それぞれの思いを自由に表現しても良いという雰囲気をつくっていました。また、6年国語の短歌では、子ども達が資料集やタブレットを使いながら、秋のイメージを想像していました。その際、指導者は子どもたちを見守りながらも、自らは言葉を発することはありませんでした。教師の指導で子どもの自由な発想を潰さないように配慮したからでしょう。また、教室には2学期の教育課程が示されていました。子ども達に見通しを持たせる工夫がありました。このようなそれぞれの子どもの価値を認め、みんなで納得解を求めるような授業の在り方は、本校が目指す資質・能力である「表現力」「主体性」の育成に大いにつながると思いました。



なお、日々の授業の「振り返り」を中心に研修をすすめており、指導案には、教師の具体的な発問が書かれています。今度は、子ども達がどのような事を書くのか、どんな姿になったら良いのか等、教師が願う具体的なゴールの姿を「子どもを主語」とすることで、「ねらい」との連動や評価規準がより明確になると思っています。そのような日常的な実践を行うことで授業力がより向上すると思いました。



NO.358 2021年10月 由布市立塚原小学校

表現力

伝える時に必要なことは「相手軸」。相手の様子を見ながら、対話することで理解しあえる。



NO.367 2021年10月 由布市立塚原小学校

想像力

自分の思いを受け入れてくれる友達がいるから、自分らしさを作品に表すことができる。



NO.369 2021年10月 由布市立塚原小学校

主体性

詳しく調べるのは自分の思いを伝えるため。根拠をもつことで、自信をもって表現できるから。

		2学期の予定 充実した日にしよう			
		9月	10月	11月	12月
行事	始業式 大運動会		後期児童会(新1年生)	努力遠足 修学旅行 持久走大会	平和集会 終業式
国	・せんねん まんねん いらはばん大事なもの ・利用実用を愛む ・熟語の成り立ち	・やまなし ・秋深し ・楽しんで ・みんな ・過ごすために	・「鳥獣戯画」を読む ・日本文化を発信しよう ・古典芸能の世界	・狂言「神山状」 ・大切にしたい言葉 ・冬のおとずれ	
算	・データの見方	・円の面積 ・比例と反比例	・角柱と円柱の体積 ・比	・拡大図と縮図 ・およその面積と体積	
理	・月と太陽	・水より液の性質	・土地のつくりと変化	・てこのはたらき	
社	・武士による政治のはじまり ・今に伝わる室町の文化と人々の暮らし ×図書館にみる本 運び(9/8甲・乙)	・戦国の世の統一 ・武士による政治の安定	・江戸の社会と文化 学問 ・明治の新しい国づくり	・国々の産業をはかる 日本と国際社会	
その他		・フォアパブリック作り(家)			